

千葉県職

12月21日 号外 千葉県職員労働組合

現業職員に対する 国の行政職(二)表の導入提案

生涯賃金1,200万円削減の行(二)導入は許せない

何が提案されているのか



	切替年齢	給与	退職金	計
09年 11月 提案	30歳	1,943万円	268万円	2,211万円
	40歳	1,219万円	268万円	1,487万円
	50歳	232万円	144万円	376万円
10年 10月 提案	30歳	1,024万円	144万円	1,167万円
	40歳	550万円	144万円	694万円
	50歳	232万円	144万円	376万円

9月14日各紙は、県が民間業者に委託している県庁立体駐車場と新都市ビルで働く労働者が24時間勤務で10,000円、8時間勤務で5,000円の低賃金に加えて5日間連続の24時間勤務などの劣悪な労働環境を報道しました。自治体の現業労働者が法外な賃金を受けているようなイメージを県民に植え付けるだけでなく、行(二)表の提案は、民間も含む現場、現業労働者の低賃金を固定化するものです。

何が問題か

昨年秋の交渉で「現業職員に對して国の行政職(二)表を導入したい」との提案がされ現在も交渉が継続中です。

県当局の提案理由は「県民理解を得るためには国の仕組みに合わせたい」と、高卒入職者の標準モデルから、30歳で221万円、40歳で1487万円、50歳で376万円の引き下げ額になります。現給保障で高齢層への影響は一定程度緩和されるものですが、若年層には、将来も影響は一定程度緩和されるものと見られていますが、現業職員は、将来の生活設計の変更を余儀なくされることになり

今年も夏・秋の交渉で二度の再提案がされ、結果として、30歳で1167万円、40歳で694万円と一定緩和されましたが、依然として大幅に賃金水準を引き下げることです。

このままでは、現在30歳前後の現業職員は、将来の生活設計の変更を余儀なくされることになり

一般職員でも、今年3月国の「わたり」調査で、千葉県は主査の5級「わたり」を見直そうとしています。当局資料でもこの3年間の男女別退職時の在級は、男性の9割が6级以上、女性の8割が5級以下です。この上、主査の5級昇格がなくなってしまうと、生涯賃金での男女間格差は大きくなるばかりです。今回の現業職員への攻撃は、一般職員も含む全体の賃金水準の引き下げと格差助長につながるもので、断じて許せません。

私たちの要求

- 1, 現業賃金について、行(二)表の導入を撤回すること。
- 2, 生活できる現業賃金、昇格基準を一般職員と同様に改善すること。
- 3, 採用後おおむね10年で18歳採用曲線に到達するようにすること。
- 4, 29歳及び30歳について、年齢別最低保障賃金を復活すること。

県現業職への賃金削減は市町村現業職員へも影響

八千代市職労では「賃金は生活給、現業も非現業職員も仕事の内容は変わっても、それぞれの職場・職域で市民福祉の一翼を担っている」という立場から、格差解消の改善を実現してきました。県の動向は市町村職員に即影響を与えます。共にたたかきましょう。 八千代市清掃職員 早川尚吾

生涯賃金1200万円の削減は将来設計に大打撃

再提案では、生涯賃金の減額は1200万円になったが、まだ、大幅な給料の引き下げだ。子どもを大学に行かせられなくなる。現業職員は、子どもの将来まで差別されるのか。

県職労現業組合員

12月21日(火)

- ・全県早朝宣伝
- ・自治労連千葉県本部署名提出と対県要請行動
- ・自治労連千葉県本部現評県職労現評激励連帯集会
- ・県職労交渉

1月20日(木)

- ・早朝宣伝
- ・地公労交渉

行動参加で要求実現

きりとりせん

組合は、職員の生活や雇用を守る唯一の団体です。

あなたも県職労へ

加入申込書

私は組合に加入します。

月 日

氏名

職場名